

v. 高尾山参道周辺地区（景観誘導地区）景観計画

1) 地区名称

高尾山参道周辺地区（約 8.3ha）

2) 対象区域

京王高尾山口駅周辺から高尾山ケーブルカー清滝駅周辺にかけて、高尾山参道の商業施設の集積する区域や甲州街道（国道 20 号）沿道を含む区域を対象とします。

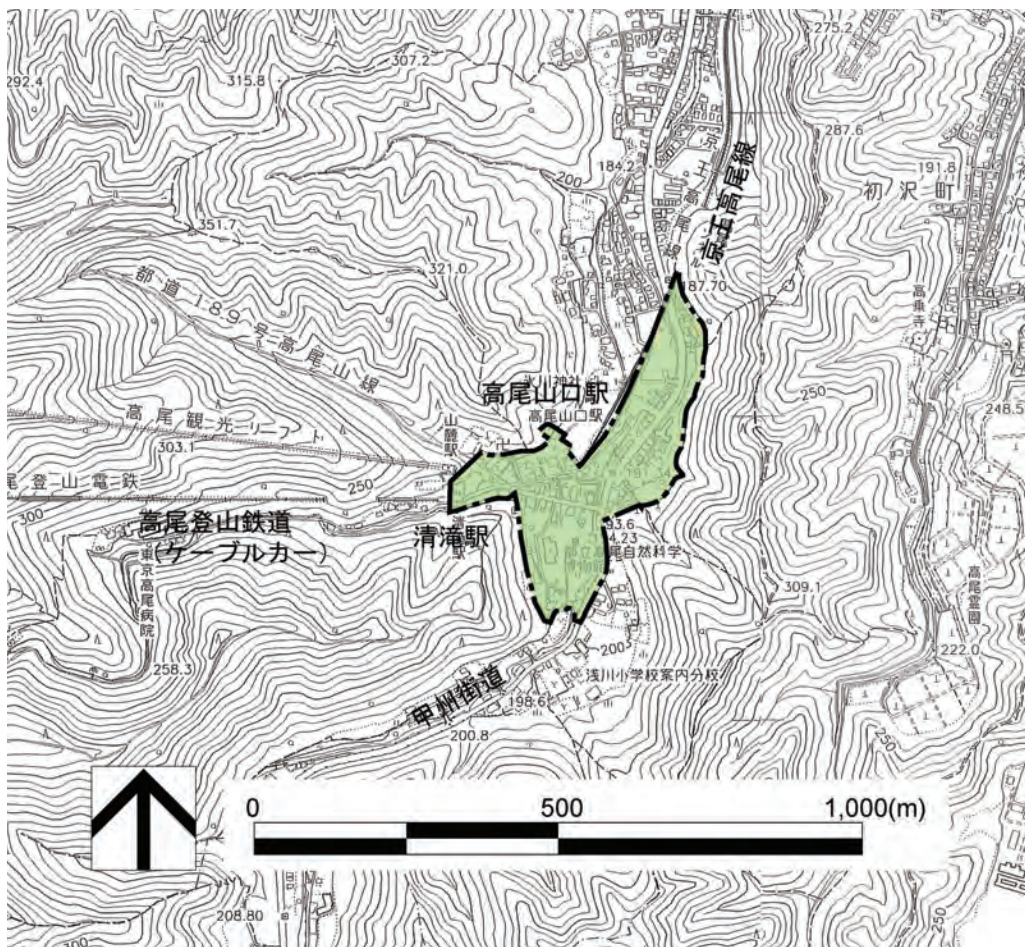


図 対象区域

3) 良好な景観形成に関する方針

①景観形成の目標

- 高尾山の豊かな自然と歴史文化を一体的に守り、これを活かした賑わいと豊かさが感じられる景観の形成を図る。

②景観形成の基本方針

- 高尾山の山並みを保全するとともに、自然景観を身近に体験できるレクリエーションの場としての活用も考慮した景観の形成を図る。
- 現況の和風の建築デザインを基調とし、高尾山の玄関口にふさわしい風格と落ち着きのある景観の形成を図る。
- 高尾山をはじめとした周辺の山地や丘陵地への眺望を確保し、これらが映える景観の形成を図る。
- 散策路や案内板等を活かし、自然や歴史文化を回遊する快適な歩行者ネットワークの充実を図る。
- 公共施設のデザインの統一、空地の確保や電線類地中化等により、安全で快適な歩行者空間の創出を図る。
- 敷地内や店先の緑化等により、ゆとりや潤いのある景観を形成する。

③景観形成の方針（法第8条第3項）

<共通の方針>

- 山並み・丘陵地の緑と河川の水辺が一体となった自然豊かな景観を形成する
豊かな高尾山の緑や水辺を維持・保全し、自然環境を身近に体感し豊かさが感じられる景観を形成する。
- 周囲の自然や歴史文化と調和した環境色彩を形成する
参道のまち並みとしての連続性や自然、歴史文化との調和が感じられる落ち着きのある色彩とする。
- 景観資源を活かし、地域の個性を磨く
地区内の巨樹や老舗等、地域に継承されている景観や歴史的・自然的に貴重な景観資源を活かした景観を形成する。

<清滝駅から甲州街道（国道20号）にかけての参道の方針>

- 自然と歴史文化が調和した賑わいのあるまち並み景観の形成
参道に立地する和風の建築デザインを基調としたまち並みの誘導を図り、豊かな自然と調和した個性的な賑わいのある景観を形成する。